

避難訓練・引渡し訓練実施計画

仙台市立将監西小学校

1 ねらい

- ① 非常災害及び不審者による事故及び事件に備え、児童が自ら生命・身体の安全を守る方法を身に付けられるようにする。
- ② 児童を、安全かつ確実に保護者や引き受け者に引き渡せるようにする。

2 実施日時 平成24年6月8日(金) 5校時

3 実施対象学年 全学年

4 想定と訓練の内容

- ① 5校時授業中、宮城県地方に震度5強の強い地震が発生。
- ② 電気、通信も寸断。余震の恐れあり。危険を避けるため児童は校庭に避難する。
- ③ 通学路も信号機の停止やブロック塀の倒壊等があり、児童だけの帰宅は困難、引き渡しを判断する。
- ④ 保護者は、災害発生時の行動計画に従い、児童の引き取りに来校する。
- ⑤ 職員は、引渡し要領に従って速やかに引受人に引き渡す。
- ⑥ 児童は保護者と共に下校しながら、通学路周辺の危険が予想される個所や「子ども110番の家」等を確認する。

5 避難訓練 (H24地震対応マニュアルP3～P4 教職員在校時の地震対応マニュアル)

事前 帰りの用意をし、机の上に荷物を置かせておく。

13:45 職員室で緊急地震速報が鳴る → 全校に緊急放送

「ただいま、緊急地震速報がありました。強い揺れを感じる恐れがあります。児童の皆さんは揺れに備えて机の下にもぐる、防災頭巾をかぶる、などの避難をなさい」

地震発生

13:48 揺れはおさまったが、電気、通信が寸断 → 全校に校庭へ避難することを指示(ハンドマイク等で)

13:50 避難開始。(上履きで。防災頭巾や赤白防止で頭部を守らせる。荷物は持たない) 避難経路図をもとに。(マニュアルP24)

非常持ち出し(児童名簿・引き渡しカード・ハンドマイク等) → 教務・技師・養護

13:55 校庭への避難終了。人員確認、安否確認 → 報告(教頭先生へ)

検索 1F・体育館() 2F()

特別教室棟()

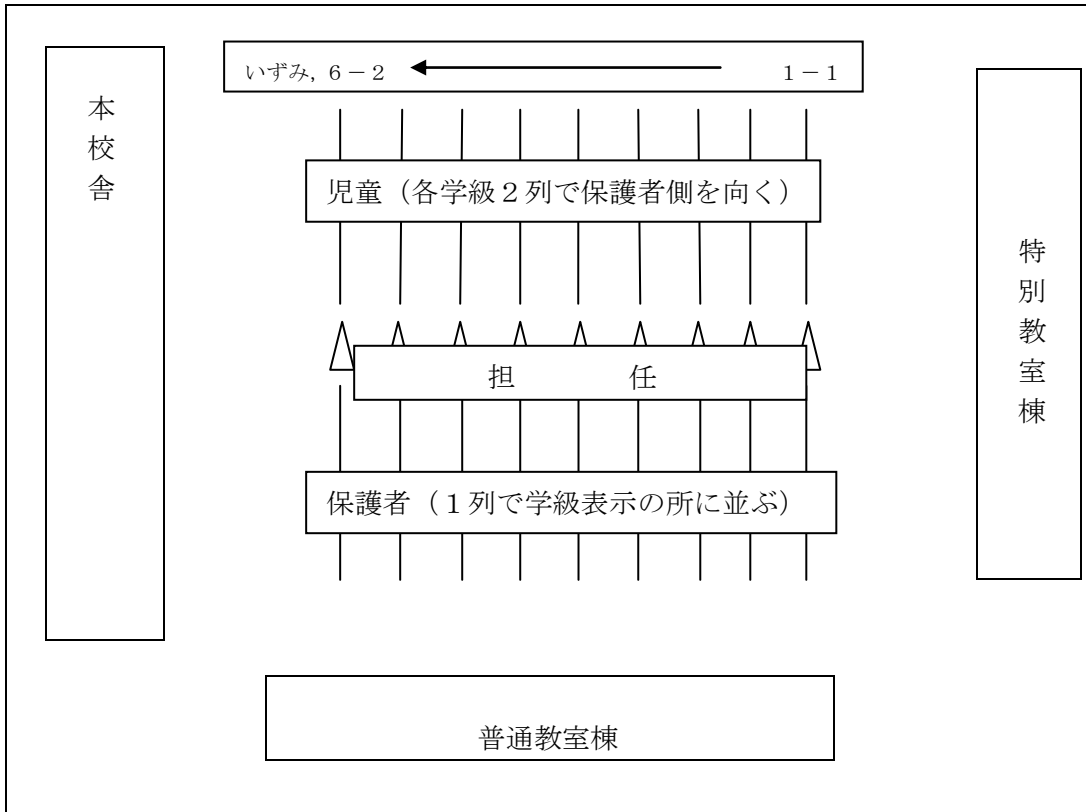
情報収集()

- <全体指導>
- 1 講評(校長先生)
 - 2 注意事項等()

6 引き渡し訓練 (H24地震対応マニュアルP18～P21)

- ① 並び替え 特別教室側から1年生～6年生 引き渡しカードを各担任に配布。
- ② 引き渡し訓練についての説明 ()
 - ・自分の保護者が先頭に来たら先生のところに行くこと。
 - ・お迎えの人が保護者か、知り合いの人かを確認すること。
 - ・引き渡しが終わったら、昇降口で上履きを拭いて、教室で帰りの用意。
 - ・保護者と一緒に下校する。帰りながら、危険な場所等を確認する。
- ③ 保護者への説明(教頭先生)
 - ・兄弟がいる場合には、下の学年の方から並んでいただくこと。
 - ・カードに記載されている引き取り者であることを確認したうえで引き渡してチェックする。安全に確実に引き渡すために多少時間がかかること。
 - ・児童が引き渡された時点で訓練終了。児童の靴の始末(上履きは持ち帰り)や帰りの用意を済ませたのち、一緒に下校してもらう。その際、危険な個所等を一緒に確認してもらうこと。
- ④ 引き渡し開始(引き渡しカードや筆記用具はその場で非常持ち出し袋から配布)
 - ★引き受けに来た人のチェック→カードの確認欄に、 6 / 8 母 のように記入する。
年、組、児童名を名乗ってもらい、続柄をチェックする。
 - *「引渡しカード」に記載がない人の場合は原則として引き渡さない。
 - ★引き渡す際は児童にも確認する。
- ⑤ 引き渡しは2：45頃までとする。その後に残った児童は地区毎に整列させ、集団下校態勢をとる。

引き渡し場所



準備物 カラーコーンに学級表示を貼る ハンドマイク

<校庭が使用できない場合の引き渡し> → 各教室で行う。

- ①校庭へは避難せず，児童は教室待機。帰りの用意をして待つ。保護者は廊下で待機。
- ②放送で児童，保護者に説明。
- ③保護者は教室前の入り口から入る。担任が教室黒板前で引き渡し確認。児童は自分の保護者の順番が来たら黒板前に来る。
- ④児童，保護者共に教室後ろの出入り口から下校。

7 その他

- 児童と保護者が記入したマップは月曜日に回収する。→ 地域防災マップ作成に利用？
- 当日に，保護者への引き渡し訓練についてのアンケート用紙を配布する。
- 月曜日に，児童に避難訓練の振り返りカードを配布，記入させる。